



＝第33号＝
 平成26年（2014年）3月発行
 富士宮国際姉妹都市協会
 富士宮市弓沢町150番地
 富士宮市市民生活課内 ☎ 0544 (22) 1486



一年を振り返って
 会長 九 川 幹



平成二十五年度総会にて会長に就任して、一年になろうとしています。歴代会長、役員、会員、事務局の皆様方の協力により、ここまで来ることができました事を感謝申し上げます。

国際情勢を見ると、近隣諸国とぎくしゃくした中でも、姉妹都市サンタモニカ市との友好関係は年を重ねることに良好な状態で推移している事は喜ばしいことと思っております。

昨年は富士山が世界遺産に登録され、年末には「和食」が世界無形文化遺産に登録されるなど、富士宮市にとっても明るい話題が多い年でした。

特に富士山の世界遺産登録は、当協会にとっても、大変意義のある出来事だと思っております。

さて、本年度は、親善訪問事業、市民交流事業ともに大成功で終了することが出来ました。ご協力頂いた市民の皆様及び関係各位の皆様方に

は、改めて感謝申し上げます。
 昨年七月には、一昨年に引き続き、サンタモニカ市の中学生たちを当市に受け入れました。彼らは一日という短い滞在でしたが、富士宮焼きそばを味わい、浅間大社と外神東公園を散策し、市長表敬をするという非常に内容の濃い一日を過ごしました。

また、今年一月の親善訪問事業では、須藤市長を団長、望月市議会議長を副団長に総勢二十七名の市民がサンタモニカ市を訪れました。現地では、サンタモニカ姉妹都市協会のモニカ会長やナット副会長、パム・オコナー市長をはじめ多くの市民からの歓迎を受けました。また、当協会役員にとっては、両市の姉妹都市提携に多大なる協力を頂いた創価学会インターナショナルのダニエル・ナガシマ理事長、イアン渉外部長ともお会いでき、非常に有意義な訪問事業にすることが出来ました。
 来年度も、両市の交流が活発に行われ、より親密な姉妹都市関係を築き上げていきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。

永遠に築こう友情の絆

望月芳明

白雪の

富士も祝さむ

渡米かな

一月二十一日 快晴 八時

五分富士宮市役所に集合、第十七回となるサンタモニカ市親善訪問団の出発式です。沢山の方々の見送りの中、無事故、大成功を祈りつつ成田行き

の専用バスに乗りました。团长には須藤市長、副团长には望月市議会議長と九川富士宮国際姉妹都市協会会長が就き、総勢二十七名の陣容。成田空港にて手続きを済ませ、午後三時二十五分発デルタ航空二八四便は私たちの夢を乗せてロス空港めざし飛び立ちました。機内食は二回、心地よい眠りに誘われながら、気がつくところではもうロス空港。到着時



SGIにて、横断幕を掲げての大歓迎

間が富士宮市役所に集合した日時と全く一緒なものには不思議な気がしました。時差は十七時間ということですが、入国手続きをして空港ロビーに出ると、最初の訪問先であるSGI（創価学会インターナショナル）本部のナガシマ理事長、イアン渉外部長、そしてサンタモニカ姉妹都市協会のナット副会長らが、車で迎えに来てくれていました。車窓からは、高層ビルが立ち並び中にも緑が多く、また、海岸通りでは人工で作った船溜りがあり、セレブ族が使用する豪華なヨットが所狭しと並んでいました。そうこうしているうちに本部へ到着。なんと横断幕を掲げての大歓迎。その真心に涙があふれ胸がいっぱいになりました。記念撮影をし、その後ホテルを見学しピアノ演奏を聴いた後、応接会場へ。そこではナガシマ理事長、須藤市長、望月議長、九川会長らよりの挨拶がありました。沢山入ったお土産袋の中には先ほど撮った写真もあり、本当に嬉しく思いました。

今から四十一年前の昭和四八年十月、全米より集った創価学会員三千名による第一〇回全米総会、世界平和文化祭が富士宮市内で行われ、併せて、国際親善友好パレードが市街で盛大に行われました。その際両市長のメッセージや記念品の交換等が行われ、国際友好が深められました。その後、現池田SGI会長より創価学会アメリカ本部のあるサンタモニカ市と富士宮市との姉妹都市提携の話がなされ、翌年の十月、サンタモニカ市長が当市を訪れた時に提携の「覚書」を交わし、昭和



ナットさん(右)、イアンさん(中)と記念撮影

五十年七月二十一日、サンタモニカ市制百周年の記念式典席上で、姉妹都市提携が結ばれたと伺いました。そのとき蒔かれた種は両市の堅い信頼と友情に育まれ、今や見事なる大樹となったことを実感しました。毎年行われている交換学生事業は両市合わせて一六三名、訪問団は延べ一七五名にも達しているとの事です。ちなみに提携時の市長は今なお健在で、今回も案内役を務めてくださったナット・トラヴィス氏、富士宮市長は植松義忠氏と伺いました。

大歓迎の余韻もさめやらぬまま次に向かったのは昼食です。出された量の多さにはビックリ！しかし現地の人々の体型をみると思わず納得といった感じです。午後二時サンタモニカ市庁舎訪問。両市長の挨拶があり、記念品の贈呈が行われました。サンタモニカ市は人口十万人、議員数は七

名、訪問団は延べ一七五名にも達しているとの事です。ちなみに提携時の市長は今なお健在で、今回も案内役を務めてくださったナット・トラヴィス氏、富士宮市長は植松義忠氏と伺いました。

人、議会運営は十人前後で行っているとのこと、富士宮市との形態の違いには驚きました。パム市長からもあたにかいもてなしを受け、市庁舎を後に。そして夜は親善レセプションです。会場は有名なリヴィエラ・カントリークラブ。ここはかつてプロゴルファーの石川遼選手がプレーしたところで、長い歴史があり世界でも指折りの名門メンバーが座りディナーが用意されました。厚くてやわらかいステーキをはじめ、上品なメニューはとてもおいしく、テーブルごとにお土産を渡したり、写真を撮ったりと、和やかな歓談の花が幾重にも咲き、場内はあふれんばかりの熱気でいっぱいでした。私たちも、「富士山」や「上を向いて歩こう」など、みんなで歌い、身も心も弾む思いで楽しむことができました。席上では、記念品の交換や代表による挨拶がありました。中でも印象に残ったのは当市のミス富士山の二人です。森川さんは見事な英語でのスピー

チ、神戸さんは「おもてなし」の心を大事にするあたにかい挨拶。若い二人の爽やかな姿に思わず大拍手を送りました。

二日目の午前中はサンタモニカ高校へ。生徒数は約三千人で、広大な敷地に校舎が建ち並び、中央には四千人を収容できる屋外イベント施設もありました。案内は同校の学生が担当してくれましたが、日本語がとても上手で感心し

ました。あちこちと見学する中で、これはすごいと思ったのは、あのナット元市長がこの学校の卒業生であり、首席として写真が飾られていた事

でした。ガイドさんからは、黒人として今から四十年前、四十歳の若さでサンタモニカ市長に就任したことは、オバマさん以上だと思う、と話されたとき、どれほど苦勞をし、勉強したんだろうと心から感動しました。広々とした



雄大なグランドキャニオンを見学

校舎を見た後は、交流会の会場に移り、校長はじめ代表の挨拶があり、同校との交換学生をさらに進め発展させたいと話されていました。また、九川会長がユーモアたっぷりに「ハロー」と呼びかけた時は会場全体に笑顔が広がり、なんともいえない和やかな雰囲気になったことが忘れられません。後方のテーブルには、父兄の方々も協力し作ってくださったお鮓をはじめ、数多くの料理が並べられ、身も心も満たされた最高の幸せ気分となりました。

かけての自然の成り立ち、宇宙の神秘ともいふべき想像をはるかに超えた不思議なる空間の世界が広がっていました。また、なぜか東日本大震災のことが思い出され、自然の驚異ともいふべきものを見せ付けられた気がしました。早くも四日目、帰国の朝を迎えました。今回参加させていただき、何より有意義だったのは、二十七名全員が和氣藹々とした中で事故も無くその目的を果たすことができたことです。皆さん本当にありがとうございました。また、

同校を後にしたバスは、ロス空港に向かい、ラスベガスには四時過ぎに到着しました。市内に入り夕食をとり、その後ショーを見に行きましたが、それはほとんど夢のような光景でした。眠らない町ラスベガス。この町の人はいっ休むのか、そんな思いの中眠りにつきました。

訪米三日目は、三グループに分かれてのオプショナルツアーで、私はグランドキャニオン遊覧飛行の旅に行きました。そこには数千万年もの気の遠くなるような長い歳月を

須藤市長や望月議長があいさつの中で話された、来年迎える提携四十周年を盛大に大成功させたいと願っています。九川会長を中心に心を合わせ、万代に亘る友好と信頼の絆を深めて行きたいと思えます。最後になりましたが、望月前会長をはじめ事務局の市川さん、影となって支えてくれたすべての方々には心より感謝を申し上げます。

大 成 功

サンタモニカ訪問団

永遠に築かむ友誼の絆

憧れのサンタモニカ

佐野 寛

二〇一四年一月二十一日から二十五日まで三泊五日のサンタモニカ市親善訪問団に参加させてもらうことになりました。富士宮国際姉妹都市協

会九川会長に誘われて行くことになりましたが、今回は初めてのサンタモニカというこ

とで、一ヶ月ほど前に行われた事前の説明会ではすでに、気持ちはもうサンタモニカへ飛んでいました。

いよいよ出発の日、市役所ロビーで出発式を行い、バスに乗り込んで一路成田空港まで向かいました。デルタ航空



ミス富士山の二人と

にて成田を十五時二十五分に出国。時差が十七時間あるのでロサンゼルス空港には途中日付変更線を通して午前八時五分に着きました。

到着して一日目は、サンタモニカ市表敬訪問で両市長の話聞き、両市の三十九年間の友好親善の歴史に心から感動しました。そして夜は親善レセプションで、お互いにブレゼントの交換や姉妹都市提携時のエピソード、長年の両市の歴史、さらには過去の訪問団の功績などを語り合い、富士宮市や富士山を大いにアピールできました。歓談の席では、サンタモニカの人たちの心の広さや明るさを実感し、彼らのユーモアある会話は、非常に勉強になりました。

二日目は、サンタモニカ高校への訪問がありました。高校の校庭は、日本では想像できないほど敷地が広く、植木や芝が手入れされており、そこにいる生徒たちはのびのびと学園生活を楽しんでいます。このような素晴らしい学校で学んだ子供たちが、将来国際社会へ出て活躍をしてい

くんだと、つくづく感じました。生徒の中には、富士宮市への交換学生として来日し、富士登山もしたという学生もいて、非常に親近感を持ちました。

高校訪問後は、ロサンゼルス空港からラスベガス空港へ向かいました。ラスベガスでは市全体がどこへいってもカシノ一色で、本当に驚きました。二十四時間休まず営業している場内の熱気に圧倒され、ただ見学しているだけでした。夕食後は素晴らしいショーを観賞し、市内の夜景を見学しました。

三日目は、セスナ機で上空から見渡す限り広がる砂漠の神秘の世界を見下ろしながら、グランドキャニオンを見学。今から数千万年前という、気の遠くなるほど昔におきた地殻変動により隆起したといわれているその壮大な自然の力には圧倒されました。目の前で見た雄大な姿は今でも心に焼き付いています。

四日目は、ラスベガス空港からロサンゼルス空港経由で成田空港へ帰国し、専用バス



サンタモニカ高校にて

にて富士宮市役所へ。全員無事に帰ることができました。

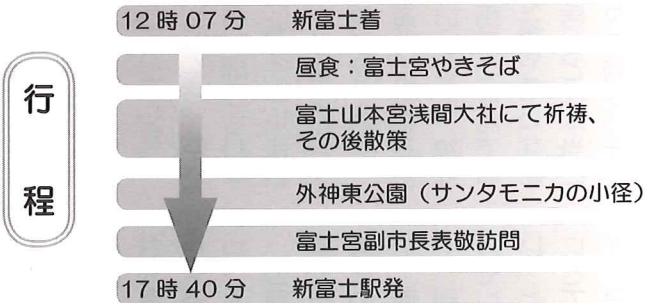
結びに、市長始め市役所の職員の皆様には大変お世話になりました。そして同行していただいた皆様にも色々とお心遣いいただきありがとうございました。自分の人生において、一生の思い出になると思っています。これをご縁にまた皆様とお会いした時には、この旅行の思い出話に花を咲かせたいと思います。来年の友好四十周年を盛大に成功させることを祈りながら、楽しかった旅をまた思い返しています。

サンタモニカの中学生・高校生たちが富士宮を訪問

●昨年3月26日(火)にはサンタモニカ高校の学生22名が、7月16日(火)にはサンタモニカ市のジョン・アダムス・ミドルスクールの中学生8名が、先生、保護者の方々とともに富士宮市を訪問しました。高校生たちは日本への修学旅行の一日として、また中学生たちは一昨年同様、京都府木津川市との交流事業で来日し、東京や箱根、京都を訪れた後、旅行を締めくくる最後の場所として富士宮市を訪れました。両日とも滞在時間は短いものでしたが、彼らは富士宮市を満喫し、市民との交流を深めていました。

サンタモニカ高校訪問団名簿

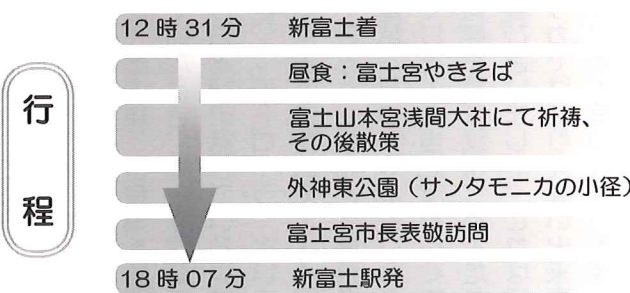
No	氏名	性別	年齢	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
				Kohn, Frank	コーン、フランク	男	15									
1	Kurtenback, Jason	クーテンバック、ジェイソン	男	校長	Meisner, Chloe	メイスナー、クロエ	女	17								
2	Rowe, Ritsuko	ロウ、リツコ	女	教師	Molina Meilyn	モリーナ、メイリン	女	16								
3	Aloana, Sara	アロアナ、サラ	女	16	17	Phan, Thuan	ファン、チュアン	男	16							
4	Campagna, Rocco	カンパーニュ、ロッコ	男	17	18	Pino, Nicholas	ピノ、ニコラス	男	17							
5	Chaheme Morales, Sofia	シャヘメ モラレス、ソフィア	女	16	19	Postley Tristan	トリストラン、ポストリー	男	17							
6	Cheng, Christopher	チェン、クリストファー	男	18	20	Ramos, Diane	ラモス、ダイアン	女	17							
7	Finley, Garrison	フィンリー、ガリソン	男	16	21	Santo, Scott	サント、スコット	男	17							
8	Gamez, Christopher	ガメス、クリストファー	男	16	22	Skerritt, Sara	スケリット、サラ	女	17							
9	Grajeda, Jasmine	グラエダ、ジャスミン	女	17	23	Sophia, Chun	ソフィア、チャン	女	16							
10	Gunther, Grace	ガンター、グレイス	女	16	24	Marylander, Sivekorn	マリランダー、シブコーン	男	16							
11	Irvine, Jacob	アービン、ジェイコブ	男	16	25	Kurtenback, Beth	クーテンバック、ベス	女	同行者							
12	Kaisaki, Kelson	カイサキ、ケルソン	男	16	26	Kurtenback, Sage	クーテンバック、セイジ	男	同行者							
13	Kita, Ryoto	キタ、リョウト	男	16												



サンタモニカ高校訪問団

ジョン・アダムス・ミドルスクール訪問団名簿

No	氏名	性別	年齢	6	7	8	9	10	11
				Ben Stansbury-Housden	ベン スタンスベリー フースデン	男	14		
1	Florence Culpepper	フローレンス カルペッパー	女	副校長	Tiana Binns	ティアナ ビンス	女	14	
2	Barbara Inatsugu	バーバラ イナツグ	女	保護者	Raffaella Gumbel	ラファエラ ガンベル	女	14	
3	Stefanie Izquierdo	ステファニー イズキルド	女	保護者	Halle Maeda	ヘイリ マエダ	女	14	
4	Noah Inatsugu	ノア イナツグ	男	14	10	Eryn Mitchell	エリン ミッチェル	女	13
5	Isaac Izquierdo	アイザック イズキルド	男	14	11	Azonde Gordon	アザンデ ゴードン	女	13



ジョン・アダムス・ミドルスクール訪問団

富士宮の ココがすごい!

サンタモニカ高校 ガリソン・ フィンリー

日本一の富士山の麓にある富士宮市は非常に趣のある町で、今回訪れるということを知ったとき、とてもうれしく思ったことを覚えています。どこまでも続いている緑は、まるで山が空に向かって手を

伸ばしているかのようで、こんなに大きな町が、自然と共存しているということに感激しました。

市街地は田舎で、僕たちが最初に泊まった京都の、あの混雑した町並みとは全然違うものでした。古風な建物や小さな通りはとてもあたたかみがありました。僕たちはまず、富士山の神をなだめるために建てられたという富士山本宮浅間大社を訪れました。途中で立ち寄った市場（お宮

横丁）では、料理の匂いがして、僕たちは焼きそばを買ってもらい、本当においしい匂いがしたので、みんな我先にと食べていました。

神社に着いたとき、空を覆っていた雲の間からわずかに富士山が顔を出しました。雲の間から富士山がチラチラと顔を覗かせていて、まるで子供が遊んでいるみたいだな、と思いました。神社へつづく道の両側に並んでいるピンクの灯籠や精巧な彫像、そして鳥居などは本当に素晴らしく、木々の間からチラリと見える赤い神社の建物

着た人たちが弓道の練習をしていました。彼らは僕たちと同じくらいの年の子たちで、西洋のアーチェリーの弓よりも大きな弓を使っていました。僕も今度チャンスがあればやってみたい、と思いました。

公園の後は市役所へ。応接室で行われた表敬訪問で富士宮市の副市長にお会いしました。職員の方々はとても丁寧な方で、副市長もとても友好的な方でした。アメリカでは場違い、と感じるような場所なのにとっても居心地がよかったです。日本の方々の平等に対する意識に驚きました。

その後富士宮を後にし、新幹線に乗りましたが、何かを忘れてきたのではないかと、この気持ちがつつと残っていました。これは感情面もそうですが、実際に何かを忘れてきた気もしたのです。自分のポケットを確認して、携帯電話がどこにもないことに気がつくきました。自分の故郷から遠く離れた土地で、家族と連絡を取る手段がなくなってしまうことにショックを隠せませんでした。アメリカでは、失くしたものはまず戻っ

てきません。だからもうこのことはきれいに忘れて、残りの旅行を楽しもう、と気持ちを切り替えることにしました。その後、奈良県を訪問していたとき、先生が電話を受け日本語で話している中で急に、「モトローラ」という言葉が出てきたので、よく聞いてみると、なんと、僕の携帯電話が見つかったということでした！本当にうれしくて、何度も飛び跳ね、友人たちと喜び合いました。これはアメリカではありえない出来事です。富士宮の人々の素晴らしいおもてなしの心には、本当にびっくりしました。



外神東公園にて

その後行った外神東公園では、サンタモニカピアアーチのレプリカがあり、遠く離れた地で、このアーチをみるのはすごく不思議な気分でした。友達と一緒に公園を散策しているとき、どこから大きな声が聞こえてきたので行ってみると、日本の伝統的な服を

その後行った外神東公園では、サンタモニカピアアーチのレプリカがあり、遠く離れた地で、このアーチをみるのはすごく不思議な気分でした。友達と一緒に公園を散策しているとき、どこから大きな声が聞こえてきたので行ってみると、日本の伝統的な服を

その後富士宮を後にし、新幹線に乗りましたが、何かを忘れてきたのではないかと、この気持ちがつつと残っていました。これは感情面もそうですが、実際に何かを忘れてきた気もしたのです。自分のポケットを確認して、携帯電話がどこにもないことに気がつくきました。自分の故郷から遠く離れた土地で、家族と連絡を取る手段がなくなってしまうことにショックを隠せませんでした。アメリカでは、失くしたものはまず戻っ

僕がユースホステルに戻ると届け物があって、中には僕の携帯電話が。失くしてすらいなかったみたいなのに、どこにも傷はついていませんでした。見つけてくれた人には本当に感謝しています。この携帯に自分の顔写真でも残しておいてくれればよかったのに、と思ったくらいです。おかげで僕は故郷とのつながりを取り戻し、同時に日本とのつながりを強くしてくれました。

素晴らしい 富士宮の思い出

.....
サンタモニカ高校長
ジェイソン・
クーテンバック

今回、富士宮を訪問して、事務局の皆さんをはじめ多くの方々の心温まる歓迎に、大変感激しています。非常に短い滞在ではありましたが、富士山の裾野に広がる富士宮市の皆さんはとても親切で、富士山本宮浅間大社は本当にすばらしいところでした。また、今回の日本への旅行は数多くの場所を回る旅行で、その最初の地が富士宮市でしたが、言葉にならないほどの美しい桜が私たちの訪問を歓迎してくれているかのように感じました。この訪問は私にとって、本当に心に残る思い出となりました。一緒に訪問した私の家族も市内の散策を楽しんでいました。また皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。今度はサンタモニカ市を富士宮市の皆様にお見せできればうれしいです。

孫と一緒に 日本旅行

.....
ジョン・アダムス・
ミドルスクール保護者
バーバラ・イツナグ



富士宮焼きそばを初体験！

でに、名物である焼きそばや、富士山本宮浅間大社での正式参拝、また、外神東公園では英語・日本語両方で書かれたサンタモニカピアアーチの複製などを満喫しました。また、須藤秀忠市長への表敬

訪問では、互いに挨拶をかわし、情報を交換しました。

富士宮市は富士山に深く関係しているため、訪問することが出来てとてもうれしく思っています。今回の日本旅行の中で最も心に残ったのは、ある日、朝六時半ごろホテルフジヤマ近くのビーチで、壮大な富士山を見ることのできたことです。富士山のはっきりした姿を見ることは難しいと聞いていたので、美しい姿が見られて嬉しかったです。

先日、ジョン・アダムス・ミドルスクール訪問団の保護者の一人として、姉妹都市である富士宮市を訪れさせていただきました。

この訪問は二週間の旅行の中のわずか半日だけでしたが、富士宮市の様々な一面を見ることができました。新富士駅でお会いしてから帰るま

今回の訪問団の中に私の孫がいきました。名前はノア・セイジ・イツナグ。彼の祖父（私の夫）は九州の久留米出身です。今回日本で体験したことを、他のメンバーはもとより、孫と共有できた事をうれしく思います。

れしく思います。

富士宮市の方々のおかげで、今回の訪問が素晴らしいものになりましたことを、大変うれしく、また、光栄に思っています。今回の訪問については既にサンタモニカ姉

富士宮を 訪問して

.....
ジョン・アダムス・
ミドルスクール
ベン・スタンスバリー・
フースデン

今回の旅行の中で、姉妹都市である富士宮市で一日を過ごしたことはとても心に残っています。特に、僕たちが富士宮に着いてからすぐ行ったお店で食べた昼食はとてもおいしかったです。

アメリカでもベニハナという日本食レストランのお店があって、お客さんの前で料理を作ってくれるのですが、このやり方が本当に日本食のスタイルだということがわかってびっくりしました。富士山本宮浅間大社で

妹都市協会ナット・トラヴィス副会長にも伝えました。温かいおもてなしを頂きありがとうございます。皆さんのおかげで短い滞在の間でも大変多くの富士宮を経験できました。

は、正式参拝をさせてもらい、貴重な経験ができました。僕たちは今回多くの神社を訪問しましたが、こういった儀式を見ることができたのはこだけでした。外神東公園では、僕がいつも見ているサンタモニカピアアーチがあったり、トンネルをくぐって上までいける面白いアスレチックがあったりして、とても楽しかったです。



須藤市長から記念品をもらうベンくん

平成25(2013)年度に行われた事業

●会議の開催

総会：平成25年5月8日(水)

●市民交流事業の実施

★ジョン・アダムス・ミドルスクール訪問団受入

参加者：11人(副校長、保護者2人、学生8人)

日 程：7月16日(火)

★サンタモニカ市親善訪問団派遣

参加者：27人

日 程：1月21日(火)～25日(土) 3泊5日

訪問先：サンタモニカ、ラスベガス



●会報『友情』第33号の発行

平成26(2014)年度総会のお知らせ

- と き：5月14日(水) 午後3時～ ●ところ：富士宮駅前交流センターきらら
2F 集会室

平成26(2014)年度の主な事業予定

- 交換学生事業 受入：7月22日(火)～8月4日(月)
派遣：8月4日(月)～8月19日(火)
- 市民交流事業

編集後記

赤池俊洋

本年度は、非常に残念なことです。交換学生事業がサンタモニカの学生の夏休みに入る時期の変更や募集状況の都合が悪く、中止となりました。初めてのこともありません。

しかし、七月にはサンタモニカの中学生達八名、教師一名、同行者二名が富士宮市に来宮して、富士宮市長表敬訪問、昼食交歓会、市内観光などを楽しんで帰られました。

二〇一四年に入り、一月には、富士宮市からのサンタモニカ市親善訪問団、総勢二十七名が、サンタモニカ市を訪問して、親交を深めてまいりました。富士宮市長、市議会議員、ミス富士山、訪問市民、協会役員などサンタモニカ市を訪問されたことは大変、意義深いことだと思えました。今後、さらなる国際交流親善を発展していくように、協会並びに各役員の皆様も、今まで積み上げた、この伝統や歴史を守り、青少年のグローバル化、健全育成に励むと共に、さらなる協会の発展と、サンタモニカとの交流が意義深い活動となることを期待します。